

第99回箱根駅伝を応援する集い (令和5年1月2日・3日)

静岡県西部支部では箱根駅伝における母校の活躍を、パブリックビューイング方式で過去2017年の第93回大会から2021年をのぞき「箱根駅伝を応援する集い」(以降「集い」と省略します)を実施してまいりました。その間の5回の大会で総合優勝4回の応援を経験させていただきました。



集いでの応援の熱が、浜松から西風に乗り届いているのかなとも思っています。そして第99回箱根駅伝は有観客での実施が決まりました。支部役員会でも全員一致で集い開催が決定されました。但しコロナが終息を迎えないうちの状況も鑑み、今回もマスク着用・着席の距離を保つ・原則拍手応援で行う事を決定いたしました。場所は例年通り「アプレシオ浜松ビオラ田町」で行うことになりました。換気も良く、間隔も十分取れる広さもあり良い環境確保しつつも、参加者各自に注意を絶えずして環境を確保することになりました。原監督の恒例の今回の作戦名が「ピース大作戦」でしたので、大会が開催出来る平和な環境に感謝しつつ、ピースサインのVサインで「勝利」と「2連覇」を祈願し浜松から「熱」が届くようにしたいなとも思いました。今回も母校の前評判は良く、学生中心の「本学最強のチーム」との評判も聞いていたもので大会が近づくとボルテージも高まってきました。事前の参加申込みも19名になりました。結果として2日3日の両日で延べ25名の方々の参加をいただきました。

そして、令和5年1月2日今年も良く晴れた大手町のスタート地点で朝8時号令が鳴り響きました。毎年この時ですが、私は準備の為毎回午前8時前には会場に着き準備を始めました。昨年は準備がスムーズに行かずやきまきまでしたが、今年も準備ができました。参加者の方々の集合時間が午前10時のため、第1区の手(今回は目片選手には自分一人での応援が始まりました。一人だけ飛び出した選手はいましたが、有力校の選手は集団になってその中で淡々と勝機を狙っている様に思いました。結果は7位でしたが、他の有力校とはさほどの差がつかず第2区の大エースに成長した近藤選手ならなんとかしてくれそうな雰囲気も漂っていました。毎回第2区の後半以降のタイミングで、参加者の方々が集まってきました。今回はちょうど近藤選手・吉居選手・田澤選手が襷を渡す前のトップ争いをし近藤選手が好位置で襷を渡した時で、早速今回1回目の大拍手が起きました。後日マスコミ各社で、近年まれに見る第2区での名勝負と評価されましたが、本当に見ていてワクワクさせもった近藤選手の走りでした。4年間で大学長距離界のトップまでに成長した素晴らしい走りを見せてくれました。そして第3区で横田選手が無難につなぎ、

第4区の太田選手が今年も快走を見せてくれました。区間2位での快走でトップの駒沢大とほぼ並んで襷渡しをした時にもまた大きな拍手がわきました。これで芦ノ湖にはトップでゴールかとの期待が膨らみ、全員が笑顔になりました。しかし、勝負はそんなに甘いものではありませんでした。予定選手の故障で直前での変更があり、それが第5区及び第6区にも影響が出て第7位まで後退しました。参加者の方々は、心の中では応援していたのですが声が出ずジッと画面を食い入るようになっていました。結局、参加者の方々の応援も届かず第9区の岸本選手に第8位で襷が渡った時は今回は厳しいかなという雰囲気にも包まれました。しかし、岸本選手の頑張り、3位集団の後ろに姿が画面に映ったときは、復路最初の大拍手が沸き起こりました。そして、5人を抜き第3位に上がった時は、今回一番の大拍手でした。「やったな。」「さすがだね。」「思わず色々な声が出ていました。全員が堪えていた思いが爆発した瞬間でもあったと思います。ハイタッチをしていた方々もいました。この雰囲気も集団で応援をする醍醐味でも喜びです。集いを中止した一昨年のように家で観戦では味わえないものです。そして、第10区の中倉選手がそのまま第3位で大手町のゴールに着いた時にも大きな拍手が起きました。選手に対してまた参加者お互いに「お疲れ様でした」の声が上がりました。原監督の「ピース大作戦」は優勝のVサインにはなりませんでしたが、各所で母校らしい「ねばり」と「執念」を感じさせていただきました。来年は第100回の記念大会で更に雰囲気も盛り上げるものと思います。今回連覇は出来ませんでした。またきつと王座奪還をしてみたいと思います。毎年そうですが、原監督・選手達には感動と勇気を与えていただき感謝の念に堪えません。今年も感染対策には大変気を使いましたが、「箱根駅伝を応援する集い」を実施出来て本当に良かったと思えました。来年の母校の活躍を祈りつつ、参加者全員が三々五々それぞれの帰路につきました。

山中宏美(昭53卒 経済)

西部支部ゴルフコンペ (令和5年5月28日)

5月28日(日)菊川カントリークラブにて西部支部ゴルフコンペが開催されました。荒天により中止とさせていたが、昨年の秋のコンペから一転、薄曇りの合間から優しい陽射しが降りそそぎ、とくきおり爽やかな風が舞う絶好のゴルフ日和となりました。中部支部様から初参加の山本雅之さんをはじめ5名のご参加をいただきました。優勝は連覇の石田修康さん。準優勝はベストグロス「81」をマークした中部支部の片岡征哉さん、第3位は当ゴルフ



同好会顧問の鷲津有一さんがそれぞれ獲得されました。青学ゴルフ部出身の石田さんとパットの極意を伝授された安藤由紀子さん。後半になると10メートル以上のロングパットを含みワンパットを連続し飛躍的にスコアを伸ばされたそうです。パットの極意は「どっすんばりばり」(っ)なんだとか。和気あいあいとした雰囲気の中で、初心者の方から経験者まで、楽しく、そして学びもあるお気楽なコンペです。ぜひ一緒にしませんか? 次回は11月19日に開催予定です。多くの校友の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

幹事 青山素久(平3卒 経営) m-aoyama@sake-sunugaya.co.jp

顧問 鷲津有一(昭57卒 経営) TEL053-456-8154

東海支部総会 (令和5年6月18日)

東海支部総会が6月18日(日)名古屋マリオットアソシアホテルにて開催されました。梅雨期ですが雨の心配ない天気にも恵まれ西部地区より5名の参加でした。コロナもあり5年ぶりの名古屋での開催となりました。会場はパーティションが外され楽しく会食できました。短大の東海支部総会は礼拝(讃美歌・聖書拝読)から始まり来賓の先生のご講演、本部同窓会役員のご挨拶、各県部会の活動・会計報告と進行します。総会終了後は懇親会となり食事と会話を楽しみ讃美歌405番を歌い会が終わります。来賓の趙慶姫先生のご講演内容は「ジェンダー研究センターの社会貢献事業・生涯学習の取り組み」でした。ジェンダー研究センターは短大の女子教育の理念・伝統を継承し男女共生社会の実現を目指していくセンターです。短大が大学に対して設立を提案し設立されました。社会貢献を活動の柱にし女性の生涯学習をコンセプトにしています。短大は閉学になりましたがセンター設立でこれまでの長い短大教育が継承されていくことに誇りを感じます。来年の総会は岐阜市での開催となります。皆さん再会を楽しみにして散会となりました。



伊藤幸枝(昭52卒 短大)

「花の舞造」蔵見学 開催のご案内

この度、静岡県西部支部の催しとして、「花の舞造」蔵見学、蔵見学と新酒試飲(及び「花の舞造」本店での昼食会)を開催し、校友会会員皆さまの親睦を深めたいと思っております。◆期日:令和5年11月26日(日)午前11時~午後18時30分 ◆場所:「花の舞造」浜松市浜北区宮内6-3-2 ◆会費:3500円(昼食代、移動タクシー代含む) ◆締切:2023年9月30日(主) 先着14名様 ◆お申込み・お問合せ先:「申込み先」校友会静岡県西部支部事務局(宛) (申込み先)「花の舞造蔵見学」担当幹事 鎌江廣治(昭和58年法學卒)

会員の方の 企業・お店 をご紹介 (是非、ご利用下さい)

未来へつながるモノづくり  
FTC co.,ltd.  
株式会社 エフテーシー  
http://www.ftc-japan.jp  
超小型電気自動車 FTC88C  
代表取締役社長 中本博敏(昭63卒理工)

弁護士法人長野法律事務所  
浜松市中区大工町125  
Tel.053(456)0385  
Address:info@nagano-law.or.jp  
長野敦子(昭58卒法)

医療と介護の  
更なる充実へ向けて  
藤花会  
グループ  
特別養護老人ホーム  
藤乃花  
TEL 053-472-1187  
浜松市中区幸4丁目21-1  
http://www.hanadaira.com  
藤野勝子(昭42卒文)

あなたの夢に、  
追い風を。  
浜松いわた信用金庫  
浜松いわた信用金庫は  
「あなたの夢」を、全力で応援し続けます。

★紙はもちろん、Tシャツ  
フルゾン・のぼり旗  
その他いろいろな物へ印刷  
http://www.kp-good.jp  
★Facebookも見てね★  
KP 有限会社 光明堂印刷所 本社 千430-0854 浜松市南区瓜内町785-2  
〒430-0854 浜松市南区瓜内町785-2  
TEL 053-442-0906 FAX 053-442-0907  
GOOD 印刷工房グッド ショップ 千432-8042 浜松市中区上洗田2丁目2-15  
〒432-8042 浜松市中区上洗田2丁目2-15  
TEL 053-523-8498 FAX 053-523-8028  
COLORZ カラーズ 直営工場 千430-0854 浜松市南区瓜内町785-2  
〒430-0854 浜松市南区瓜内町785-2  
TEL 053-443-8086 FAX 053-442-0907  
内藤明彦(昭53卒経営)

TAMAGAWA SANGYO  
企業ユニフォームのコンサルティング  
玉川産業株式会社  
www.tamagawa-sangyo.co.jp  
代表取締役社長 松山太郎(昭60卒経営)